

交流会レポート

知的財産管理技能士会 交流委員会

2015年1月10日(土)、金沢工業大学大学院・虎ノ門キャンパスにおいて、知的財産管理技能士会・第15回交流会が開催されました。今回の交流会レポートでは、当日行われた「平成26年度表彰状授与式・基調講演」「キャリアモデル・ワークショップ」「懇親会」の模様をご紹介します。

1. 平成26年度表彰状授与式・基調講演

第15回交流会は第1部、平成26年度表彰状授与式・基調講演から始まりました。

受賞者の上柳雅誉様(セイコーエプソン株式会社知財顧問・上柳特許事務所所長)には、知的財産管理技能検定創設当初より検定委員としての検定普及に対する積極的な貢献や、本誌『IPマネジメントレビュー』でのインタビュー、「トレードシークレット・マネージャー養成講座」の企画・運営など、多岐にわたり知財人材育成活動にご尽力いただいています。授与式では知的財産教育協会の村木代表理事から上柳様に表彰状が授与されました。



受賞者上柳様(右)と
村木代表理事(左)

授与式後には上柳様から「事業経営と知財戦略—知財技能士への期待—」と題し、基調講演をいただきました。

経営に資する知財戦略・知財活動に重要な4つの戦略、①ポートフォリオ戦略、②知財活用戦略、③知財活動基盤整備、④ドルフィン活動(=知財力倍増活動)についてお話しいただき、その中で知財スタッフの確保・育成が重要であること、特にビジネスベースで知財戦略を構築できる能力が必要であるため、今後の知財技能士に対して期待する役割等につい

ても熱いお言葉をいただきました。行動の羅針盤となる志を持ち、気づき・行動力・スキルの3つをバランスよく高めていくこと、またそれを持続することが大切であるとお言葉が印象的でした。

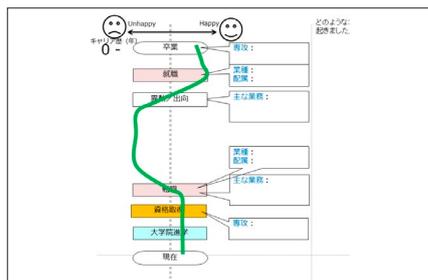
2. キャリアモデル・ワークショップ

第2部はいよいよ今交流会のメインイベント「キャリアモデル・ワークショップ」です。まず、竹本交流委員によるワークショップの趣旨説明があり、その後アイスブレイクとして、各グループで自己紹介と今年の抱負発表が行われました。この段階で、すでにどのグループの皆様も打ち解けあい、話しやすい雰囲気が醸し出されているように思いました。

発表の時間管理や進行がスムーズに行われるよう、各グループにはファシリテーターとしてキャリアモデル作成経験のある委員数名と、特別参加いただいたキャリア・コンサルタントの実務に携わっているキャリア・コンサルティング技能士3名が配置されました。

続いて、今ワークショップのメインの作業となる『キャリアモデル個人ワークシート』への記入が始まりました。学校の卒業から現在までのキャリアを振り返り、キャリア歴に影響を与えたキャリアイベント(転退職、異動、出向、留学など)を書き出していく作業です。掲示された杉溪交流

委員のキャリアモデルの作成例と、どのようなキャリアイベントがあって、その時にどのような感情を抱いたか、といったコメントを参考にしながら、20分ほどで記入を終えました。さらに、“ライフ・ラインチャート”でこれまでのキャリアの満足度合いの移り変わりを折れ線グラフで表現、グループのメンバーに対して、約5分で自身のキャリアイベントに関して発表をしました。



キャリアモデルとライフ・ラインチャート

これまでのキャリア歴を振り返った後、次は将来目指すキャリアについて、5年後、10年後に実現したいこと、目指すもの、それを達成するために必要なことを記入しました。キャリア歴の振り返りと同様、今度は約3分でグループのメンバーに対して将来目指すキャリアを発表しました。発表を聴いているメンバーから発表者へ積極的な質問や感想の発言もあり、終始、熱気に包まれたワークショップとなりました。

どの参加者も、沢山の気づきを得て、前向きな気持ちを膨らませつつ、今回のキャリアモデル・ワークショップは無事終了しました。

終了後、3名のキャリア・コンサルティング技



能士から、「通常であれば1日～2日かけて行うキャリアモデル作成をわずか2時間ほどで行ってしまうのは、参加された皆様がご自分のキャリアについて普段からきちっと考えていらっしゃるからではないか」、「キャリア・コンサルティング技能士の方々が行うワークショップでもここまでできない」などのお褒めの言葉をいただきました。上柳様からは、「今後も知財技能士として、志を持って、気づきと行動力とスキルを高めていてもらいたい」という講評で締めさせていただきました。

3. 懇親会

第3部は、飲食店に場所を移し、懇親会が行われました。第1部、第2部に引き続き、上柳様にもご出席いただき、総勢約30名での懇親会となりました。

知的財産教育協会の杉光専務理事から、開会の言葉と乾杯の発声が行われた後、各テーブルでは名刺交換や、現在のそれぞれのお仕事内容、知財とのかかわりなど、活発な発言や意見交換が行われていました。席を移動し、できるだけ多くの方と接しようとされている方も多く見られました。

村木代表理事の中締めのお言葉、上柳様のご挨拶を頂戴し、大いに盛り上がった余韻を残しつつ、会はお開きとなりました。

知財技能士のプレゼンス向上を実現するためには、一人一人の目指す目標に適ったスキル修得が必要不可欠ですが、今交流会で実施したワークショップは、上柳様のお言葉を借りれば「行動の羅針盤となる志」を各自が考えるよい機会にできたのではないかと思います。

(交流委員 杉溪・亀田)

知的財産管理技能士会・交流会のご案内

<http://www.ip-ginoushikai.org/koryukai>

*これまでの実績や今後の予定は上記ウェブをご覧ください